



アザメ新聞は相知町佐里下地区で行われている自然再生事業の進展をお伝えする新聞です。
この事業は住民参加の事業で、どなたでも検討会に参加できます。

V o l . 1 5では第25、26回検討会、アザメの瀬トレンチ調査の内容をお伝えしました。

V o l . 1 6では第27、28回検討会、アザメの瀬研究発表会、イダ嵐見学会の内容をお伝えします。

第27回検討会開催！ H16.2.5

施設見学会の報告・アザメの瀬の環境学習施設に対する意見抽出

アザメの会・武雄河川事務所の職員らが、アザメの瀬の環境学習施設の基本構想の参考とするため検討会に先立ち、当日の昼間、田平昆虫自然園（長崎県田平町）、生月島 島の館（同県平戸市）の施設見学に行きました。検討会では、施設見学した2カ所の報告と、視察結果を踏まえてアザメの瀬の環境学習施設に対する意見をうかがいました。



施設見学箇所の報告では、参加者から①もっと簡単で人がふれあえる場所がほしい ②ボランティアの協力がある、③展示物に金をかけていない ④維持管理が大変などといった意見が出ました。一部の参加者からは、「ここは見習いたいなとか」、「これはあんまり…」といった感想もありました。視察結果を踏まえてアザメの瀬の環境学習施設に対し ①シードバンクの展示 ②水中のさかながみられないか？ ③学習館の中身が大事 ④ボランティアの活用 ⑤みんなの憩いの場所 ⑥撮影した写真の展示 ⑦子ども達が捕まえた魚や昆虫の展示があったらいいのにと意見がだされました。今後実施する工事予定として町道の新設、築山、クリーク掘削工事が予定されていることも報告しました。

第28回検討会開催！ H16.2.2

アザメの瀬の近況報告と、アザメの瀬の環境学習施設の基本整備方針を議論！

季節はずれの出水（2月29日）により、施工中のクリークや湿地等が冠水しました。工事関係者だけでなく、地元の人たちもびっくりの出来事でした！

アザメの瀬の環境学習施設の基本整備方針は、前回（H16. 2. 5）の検討会に出された意見をもとに設計方針を作成することとなりました。主な意見は

- ①維持管理が膨大とならず、負担を強いることのない施設
- ②現地視察した2施設はイメージが違う。もっと単純で人がふれあえる場所
- ③建物の大きさより、中身の展示物で勝負だ（農具、シードバンク、アザメ内の魚）
- ④学習の場を設けた方がよい。
- ⑤みんなの憩いの場、子ども達の場所
- ⑥徹底したバリアフリー化

これらの意見をもとに議論を行い、①②をうけて、環境学習施設の建設費に予算確保できる費用は、限られるので、「田平自然昆虫園」、「生月島 島の館」のような大規模な施設の建設は困難であるから、相知周辺の家屋形態をみならって、母屋・納屋といった鍵屋形式としてはどうか？③④をうけて、地域交流・環境学習を行えるような多目的スペース（説明・広報の場、勉強の場等）は、1クラス30名程度のスペースは最低必要ではないか？⑤⑥をうけて、「アザメはアザメの味を」といった点から、周囲の景観に考慮した、デザインは平屋の古民家風の施設にしてはどうか？ という方針をたてました。

この方針をもとに、建物の外観は古民家風に、建物は母屋と納屋の造りとし、母屋の果たす機能は、①集会・説明場・休息場といった多目的スペース②パネルなど説明に必要な備品の展示スペース③学習資料置き場とし、納屋の果たす機能は①受電・受信室の①情報管理棟②トイレ、③倉庫として活用するなど、より具体的に多目的スペースの広さ、展示スペースの展示内容と展示場所、間取りの配置計画について整備方針をとりまとめました。

トイレは、環境に配慮するため①合併浄化槽②エコトイレ③バイオトイレに関するそれぞれの特徴、設置費用、維持管理費について説明し、議論しました。

アザメの瀬研究発表会 H16.3.18

みんなでアザメの瀬の研究を発表

相知交流文化センターにてアザメの瀬研究発表会を開催しました。発表者は、公募研究の日本大学、大阪府立大学、東京大学、九州大学、和歌山大学(順不同)、土木研究所より皆川さんが参加され、河川事務所より現状報告、厳木高校よりシードバンクの研究について発表を行いました。



発表会は参加人数が50人くらいで、地元の方々も積極的に参加され、時には質問も飛び出したりしていました。

先生方の発表内容がわからない方は、アザメの瀬で先生方に会ったときにでも質問してみてください！喜んで、研究内容を教えてくれると思いますよ！！(先生もそれを待ってたりしてます！)

第2回イダ嵐見学会 H16.3.21

アザメの瀬でイダが獲れた？！

3月21日アザメの瀬前でイダ嵐の見学会を行いました。この時はイダがすでにアザメの瀬を通り過ぎた後であり、イダが全く獲れませんでした…。やっぱり自然は厳しいですね！！しかし、事前に出駒鳴地区の方より立派なイダをわけて頂いておりましたので(駒鳴地区の方々どうもありがとうございます！！)、それを皆で料理しおいしく頂きました。来年こそはアザメの瀬でイダがいっぱい獲れますよう～に！！

イダ嵐：春一番が吹くと、イダ(ウグイ)が産卵のために海から川へ一斉に上ってくる現象をこの地域ではイダ嵐とよびます。



↑ みんなで頑張って釣ったんですけど駄目でした…



↑ 子供たちにイダ嵐を説明されるアザメの会会長



↑ イダをみそ汁にしている写真です。味付けはアザメの会久我さんがやっています。



↑ 駒鳴地区の方々より頂いたイダ！！とても大きくて立派です。おいしそう…